

沼津工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	保健体育Ⅲ
科目基礎情報					
科目番号	2019-208		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電気電子工学科		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材					
担当教員	佐藤 誠				
到達目標					
スポーツ実践を通じ、自らの能力に見合った目標を設定し、他者と極力して行動していく中で人間力の向上を図る。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1 各種スポーツのルールを理解できる	各種スポーツのルールを理解し、実践できる。	各種スポーツのルールを理解できる	各種スポーツのルールを十分理解できない		
評価項目2 仲間と協力できる	仲間と積極的に協力できる	仲間と協力できる	仲間と協力できない		
評価項目3 安全面に配慮してスポーツを楽しむことができる	安全面に十分配慮してスポーツを楽しむことができる	安全面に配慮してスポーツを楽しむことができる	安全面に配慮してスポーツをすることができない		
学科の到達目標項目との関係					
【本校学習・教育目標 (本科のみ)】 3					
教育方法等					
概要	各スポーツ種目を教材として取り上げ、それぞれのスポーツ種目のルール、特性、特徴的な動きなどを理解し、個人や集団で実践していくことを通じて、生涯にわたって継続的にスポーツを実践していく能力と姿勢、仲間と協力していく態度を養う。スポーツの実践を通じて人間力の向上を図る。				
授業の進め方・方法	個人においては、各種目で学生の能力に応じた課題を設け、その獲得及び習熟度を向上させる。集団においては、それぞれのレベルにあったゲームの展開を自分たちでできるようにする。テキストは使用しないが必要に応じて資料を配布する。各種目の実技試験の成績 (到達度) を60%、授業への参加率、参加態度、仲間との協力を40%として評価する。60点以上を合格とする。				
注意点					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	自分の体力や技能を考慮して、年間の計画を立てることができる。	
		2週	ほぐしの運動・種目選択	自分の体力や技能の現状を理解することができる。	
		3週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。	
		4週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。	
		5週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。	
		6週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。	
		7週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。	
		8週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。	
	2ndQ	9週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。	
		10週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。	
		11週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。	
		12週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。	
		13週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。	
		14週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。	
		15週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。	
		16週			
後期	3rdQ	1週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。	
		2週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。	
		3週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。	
		4週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。	

4thQ	5週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
	6週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
	7週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
	8週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
	9週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
	10週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
	11週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
	12週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
	13週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
	14週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
	15週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的 能力	態度・志向性 (人間力)	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	
			自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	3	
			目標の実現に向けて計画ができる。	3	
			目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	
			日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	
			社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	
			チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	
			チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	
			当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	3	
			チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	
			リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	3	
			適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	3	
			リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	3	
			法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	
			他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	
			技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。	3	
			自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	3	
			その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状に必要な学習や活動を考えることができる。	3	
			キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	3	
			これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	3	
			高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でのように活用・応用されるかを説明できる。	3	
			企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。	3	
			企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。	3	
			企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を判断することの重要性を認識している。	3	
企業には社会的責任があることを認識している。	3				
企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているか説明できる。	3				
調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界の抱える課題を説明できる。	3				
企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要であることを認識している。	3				
社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。	3				

			技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。	3	
			技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げることができる。	3	
			高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを認識できる。	3	
			企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	3	
			コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	3	

評価割合

	試験 60	発表	相互評価	態度 20	ポートフォリオ	その他 20	合計
総合評価割合	60	0	0	20	0	20	100
基礎的能力	30	0	0	20	0	20	70
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0